



連 合  
鳥 取

# 中部地協ニュース

日本労働組合総連合会 鳥取県連合会 中部地域協議会  
〒682-0804 倉吉市東昭和町 286-2 TEL23-7205 FAX23-7206

No. 2 2018. 3.12

発行責任者 笠 見 一 也

編集責任者 山 田 秀 之

## 2018 春季生活闘争勝利総決起集会を開催！

3月2日（金）、倉吉体育文化会館駐車場において「中部地協 2018 春季生活闘争勝利！総決起集会」開催し、約 600 人の組合員が会場に結集しました。

最初に主催者を代表して中部地協笠見一也議長が「長時間労働の是正や同一労働同一賃金など雇用形態間の均等待遇の実現など『働き方改革』も、労働組合が『全ての労働者の立場に立った働き方の実現』に向け、労働組合が先頭を切って進まなければならない」と挨拶を行いました。

続いて連合鳥取の澤田陽子副会長が「すべての単組で要求書を提出して春闘をスタートすること」、「ディーセントワークの前提は、男女平等が大切であること」、「今、壊されつつある平和と人権をしっかりと守ろう」と激励の挨拶を頂きました。

来賓を代表して、民進党鳥取県連のおきはる英夫幹事長から連帯の挨拶を頂くとともに、湯原俊二さんからも連帯メッセージを頂き披露しました。

単組決意表明では、全国農団労・鳥取中央農協労組の水野一史さんが参加者を代表して、力強く今春闘に向けての決意表明があり、集会アピールでは自治労・鳥取県職連合中部支部の田邊奈都子さんが提案し、全体の拍手で採択されました。

最後に、笠見議長による「団結ガンバロー」を三唱して集会を閉会した後、倉吉駅までデモ行進で「労働者の賃金を引き上げろ」「長時間労働を是正しろ」などのシュプレヒコールで地域の方々へアピールしました。



## 連合鳥取 2018 春闘方針の説明

中部地協は、2月14日（水）倉吉体育文化会館において2018春闘方針の周知・徹底をはかるため単組代表者会議を開催しました。

冒頭、笠見一也議長が「春闘において全単組で要求書を出して、全ての労働者の底上げをしよう」と挨拶を行いました。

続いて、連合鳥取田中穂事務局長が連合鳥取2018春闘方針「取り組みの重点課題である全構成組織が必ず要求書を提出して地域春闘を展開する。そして、要求の目安となる賃上げ(2%)4,600円+賃金カーブ維持分4,000円+地域格差是正分1,000円(全国平均との格差を埋めるため加算)の合計9,600円の説明」がありました。(詳しくは連合鳥取 HP 機関紙2月号参照)

最後、連合鳥取推薦議員が日頃の活動報告がありました。また、今年1月28日の選挙でトップ当選された澤田豊秋琴浦町議会議員も新たに推薦議議員の仲間に加われ今後のご活躍に期待するところです。

## 「学校における働き方改革」に関する要請

連合鳥取は3月8日（木）、本川博孝会長と寺谷昭人執行委員（鳥取県教職員組合執行委員長）が松本昭夫北栄町長・別本勝美教育長と石田耕太郎倉吉市長・福井伸一郎教育長に教職員の長時間労働を着実に是正するための要請を行いました。



右から松本町長・本川会長・寺谷委員長



右から寺谷委員長・本川会長・石田市長